

多くの研究活動を
支える、多彩な
バックアップ制度。



修学支援制度

大学院生の修学に対し、経済的な支援を目的とした制度です。2019年度より、従来の制度を見直し以下のとおり実施する予定です。

修士課程

■法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金

修士課程に在籍する大学院生への修学支援として、経済的支援を行うことを目的としています。

本制度は、2019年度より従来の「法政大学100周年記念大学院特別奨学金」と「法政大学大学院奨学金」を統合し、修士課程学生を対象とし、応募資格を有する申請者の中から選考の上、200,000円が支給されます。



留学・研究奨励制度

本学では、学生の海外留学や学会発表による学術研究を奨励し、研究力や資質の向上を目的とした制度を設けています。2010年度より進めている大学院改革の流れを受け、より制度の有効活用を図るため、従来の制度を見直し2019年度から以下のとおり実施する予定です。

■法政大学大学院海外留学補助金

〔2019年度〕

海外留学による学術研究を奨励し、資質の向上を図ることを目的とします。留学した大学等において履修した科目のうち、専攻が適当と認められたものは、本学大学院の課程修了に必要な単位・科目として認定されます。

〔2020年度〕

上記の大学院海外留学補助金と政治学研究科国際政治学専攻特別海外留学奨学金を統合して拡充し、より大学院生の海外留学を促進します。2019年度に募集を行います。

■法政大学大学院学生論文掲載料補助

国内・国外での学術論文発表を奨励するため、100,000円を上限にかかった費用を補助します。

■法政大学大学院学会等発表補助金

法政大学大学院学生会発表奨励金及び法政大学大学院海外における研究活動補助を見直し、国内30,000円、国外70,000円を上限

※2019年度から実施予定の制度です。制度の対象はP.108をご覧ください。

博士後期課程

■法政大学大学院博士後期課程研究助成金

博士後期課程に在籍する大学院生への修学支援として、学術活動を奨励し高度な研究能力と豊かな学識を有する若手研究者を育成するため、経済的な支援を行うことを目的としています。

本制度は、2019年度より、従来の「博士後期課程研究助成金(A)」と「博士後期課程研究助成金(B)」を統合し、より拡充され、文系研究科300,000円、理系研究科450,000円が支給されます。

なお、本助成金は、原則として応募資格を有する申請者全員に給付されます。

に実費を補助することにより、学会等での発表を奨励します。

■法政大学大学院現地調査実施費用補助(国内・国外)

市ヶ谷、多摩キャンパスで開設している研究科の学生を対象に、国内30,000円、国外70,000円を上限に実費を補助します。

■法政大学大学院諸外国語による論文等校閲補助

国内外の学会発表や研究論文を、英語をはじめとする母語以外の諸外国語で執筆する際に、外国語で執筆した研究論文などの校閲費用について、100,000円を上限に実費を補助します。

■法政大学大学院学生研究補助金

大学院生の研究を支援するため、各専攻の学生研究に要する書籍、消耗品、印刷費等の費用を補助します。

■法政大学大学院博士論文出版助成金

優秀な博士論文の出版費用を補助することで、博士学位取得者の研究者としてのキャリア形成、研究実績の蓄積を支援します。審査の上1,000,000円を上限に出版に要した費用を助成します。

VOICE

私が利用した制度

※2017年度までの奨学金・研究助成制度を利用された方の紹介です。

奨学金のおかげで 目標だった留学を経験できました



浦川 智子

人文科学研究科
英文学専攻
博士後期課程 2016年度満了

イギリス文学を専攻しており、19世紀末のオスカー・ワイルドを中心に文化や時代背景を研究しています。法政大学大学院を選んだ理由の一つに充実した奨学金制度があります。大学院ではイギリスへの留学を一つの目標にしていたので、給付型奨学金である「留学補助金」や「法政大学100周年記念大学院特別奨学金」を活用しました。留学補助金は長期留学する学生に最大で150万円※支給される法政大学の奨学金です。イギリスの大学院の授業料は法政大学大学院の3倍以上もかかり高額なので、留学補助金をいただけたことは本当にありがたく思っています。留学先の大学院では戸惑うこともありましたが、ディスカッション形式の授業が中心で、現地の方々との意見を交わし研究できたことは良い思い出です。また、休みの日には文学作品や映画の舞台となった場所を巡ることができ、長期留学していたからこそ経験できたことも多くありました。留学を視野に入れている方には、「留学補助金」などの奨学金制度を活用してステップアップとなる留学を実現してもらえたらと思います。

※2018年度は100万円程度を給付

手厚いサポートは 研究の大きな励みになります



山口 清道

デザイン工学研究科
システムデザイン専攻
博士後期課程 在学中
JIPテクノサイエンス株式会社勤務

「博士後期課程研究助成制度(A)(B)」のサポートは大きく、授業料などの学費が半額になるので、その分にかけていた費用を研究活動や仕事のためのスキルアップに役立てています。特に研究助成制度(B)は研究活動や実績の審査があるため、研究に取り組むモチベーションや向上心を高めることにもつながっています。自分の研究を前進させるためには国内外の学会で行う論文発表が欠かせないため、「学会発表奨励金」や「海外における研究活動補助制度」を活用し、渡航費、宿泊費、学会の登録料や参加費を捻出しています。研究では先輩にプログラミングなどのサポートをしてもらいながら、先輩の指導も行う「チューター制度」を利用しています。国際学会で発表する論文を投稿する際には「諸外国語による論文等校閲補助制度」を活用し、専門用語などの校閲にかかる費用を助成してもらっています。今後は「外国語論文掲載料等補助制度」や「博士論文出版助成金制度」なども利用して研究論文を発表していきたいと思っています。